

平成 21 年度 第 2 回 市民活動団体連絡協議会 記録

日時：平成 21 年 9 月 30 日（水）18:30～20:30

場所：北上総合福祉センター 研修室

< 第 1 部 >

..... 18 : 30 ~

情報提供

特定公益信託いわてNPO基金 平成 21 年度 第 9 回助成事業の申請についてNPO法人
いわてNPOセンター 佐藤 文彦さんが説明を行った。



いわてNPOセンター 佐藤文彦さん



情報交換の様子

左から高橋求さん、菊池眞市さん



情報交換の様子

左から平野 周さん、八重樫 敏さん、
菊池広人さん、高橋敏彦さん

【Q & A】

Q：昨年は入門コースと展開コースは何件あったのか。

A：平成 20 年度入門コース 35 件の応募、22 件採択された。展開コースは 11 件の応募、助成団体は 8 件であった。

昨年度は例年と違い応募数 35 件と多数であった。例年は 20 件強であったが、この反動で展開コースは通常 30 件あったが 11 件であった。

昨年の補助額は入門コース 280 万円、展開コースは 717 万円であった。

Q：入門コース、展開コースのネーミングはどのような意図なのか。

A：入門コースはこれから活動する団体への初級編、展開コースはステップアップということで 20 万円の事業を継続し展開する内容である。

入門コースは数人の団体で応募し、市民活動を体験したい方々が実施できる内容である。展

開コースは応募した事業を継続し、団体も活動をしっかり行ない次に繋がるような予算措置を考えることが出来る。補助金に対する20%の自己資金を確保できる力がある。

Q：一緒に応募できるのか。また、入門コースに応募して展開コースに移行したケースはあるのか。

A：できる。逆の例で、展開コースに応募したが入門コースに変更した事業がある。

Q：申請に対してのアドバイスをお願いします。

A：審査員の立場で応募の記載例をあげる。基金の募集要項4ページに選考基準がある。4項目のうち、事業の公益性、事業の必要性、事業の発展可能性、費用の妥当性で審査する。申請書の3ページの記載内容が審査対象である。求めていることは事業の公益性で、今回応募する活動事業の対象者は誰が考えてもこの事業ならふさわしいと思う人を記載する。この事業をすすめることでどのように変わるかを書く。具体的にとあるが、くどい書き方は減点対象になるので簡潔に書く。

事業の必要性は、今回応募する活動事業の社会的背景や課題について記載する。細かく書きすぎると何が書かれているか分からなくなる。ポイントを強調するような書き方が理解されやすい。

事業の発展可能性は、事業そのものがどのように発展するか。次の年にどのように資金を調達し事業を継続するかが盛り込まれていること。展開コースではこの内容が重要視される。費用の妥当性は、普通の予算書であればよい。例えば、特産品開発のための飲食であれば認められるがそれ以外の飲食で事業の主目的に合う内容であれば認められる可能性はあるがそれ以外のスタッフの飲食等は減点対象になるので注意する。

Q：団体の活動内容紹介は資料何枚まで可能か。

A：A4サイズで両面4枚まで。団体の活動写真や総会資料を添付することで審査しやすい。NPO活動支援センターへの相談をすすめる。

Q：印刷費は委託外注費とすべきか。

A：業者に外注するのであれば、委託外注費である。

Q：展開コースに応募して、入門コースに変更した例はあるのか。

A：応募の段階で間違っ展開コースに応募し、後に入門コースに訂正した例はある。

<第2部>

..... 19 : 10 ~

北上市市民活動団体連絡協議会

1 会長挨拶

高橋 敏彦

今年度第2回目の連絡協議会である。

各団体から出された政策事業提案を今後どのタイミングで提案するか、提案がスムーズに通るためにどのような作戦をたてるかを協議する。次回には出された提案を分野ごとに作成したいと考えている。



会長 高橋敏彦さん

2 総合計画の報告

北上市企画部政策企画課 高橋 剛

本日、基本構想の答申があった。若干の修正部分があり盛り込まれていないが案を報告する。7月にパブリックコメントを実施した際に内容を知らせている。経過と今後のスケジュールを説明する。審議会では教育、学力向上の取り組みについて修正があった。連絡協議会の事業提案にも教育があげられているがそれに絡んでくると考える。

これからのスケジュールとして事業提案があげられる予定である。カラーの緑色の部分のスケジュール表を参考に説明する。今後10年間のまちづくりの方向性を市民のみなさんと共有するために基本構想審議会が10月から11月に若干の修正等を加え12月議会にて議決する。現在、基本計画を整理する段階である。北上未来創造会議の第2幕をスタートさせ、基本計画をすすめていきたいと考えている。12月下旬までに昨年度と同様に7回程度のワーキングを予定している。実際にまちづくりの指標をどのようなことを目指しているか、どのような事業に展開していくかを市民と共有出来るようなまちづくりの目標について議論する。今日のまちづくりの提案があると思うがそれぞれの主体、市民・地域・企業・行政の役割分担について議論し、それぞれが目指す未来に向かう計画を創って行きたい。黄色い部分の計画作成は平成21年度の3月頃を予定している。平成22年度の6月を目処に基本計画を作成する。実施計画と予算は平成22年度の9月を目処に作成する予定である。

2 北上市総合計画の策定について



会長 高橋敏彦さん



政策企画課 高橋 剛さん、阿部英志さん

3 市民からの政策・事業提案について



情報交換の様子
左から山下正彦さん、昆野将俊さん、
平野 周さん、八重樫 敏さん



情報交換の様子
籠谷睦美さん

・会長 高橋敏彦

7/9の総会開催時に提出した政策事業提案の一覧である。Eグループに教育の提案を加える。Aグループの2団体は欠席である。Bグループの芸術工房・建築士会・広瀬川まちづくり倶楽部・青年会議所の4団体が出席している。この枠組みで提案を進めることが良いのか意見交換をしたい。

芸術工房の事業提案「文化の街並回廊」について企画の概要を伺う。

・昆野将俊

芸術工房は今年で4年目のイルミネーションパーク事業を開催している。芸術工房の活動趣旨は北上市民に芸術文化を生活に盛り込んでもらい、物ではなく心の豊かさを深めて貰いたい。住民のみなさんの力で「文化の街並回廊」をかたちづくりたい。さくらホールの第2エリアを活用してイルミネーションを飾っているが北上に芸術的施設ができることで市民に親しまれ他所から来てみたいと思われる街にしたい。広瀬川まちづくり倶楽部が活動しているせせらぎ緑道の周辺と特色を活かして一元化して行きたい。自分の街を自分の力で、すごしやすい街に変えていきたい。本通り商店街から詩歌文学館、さくらホールまでを一連の芸術的な景観づくりをすすめたい。

・高橋敏彦

芸術工房はさくらホールから本通りを視野に含めた文化の街並を創ろうという想いで企画をつくった。引き続き、建築士会の国見山についてお話を伺いたい。

・平野 周

昨年度の建築士会50周年記念事業で行ったフォーラムを開催し、その際に北上市長が良く知らなかったということを知り驚いた。40周年事業の際に国見山の模型を作り、北上市に寄贈したが残念ながら埃を被った状態であった。今回50周年記念に埃を払い、埋蔵文化センターが10箇所の模型部分を追加した。これが昨年の事業内容である。200年前の実際にあった歴史であるから、

北上市民の歴史遺産として知って貰いたい。北上青年会議所が啓蒙活動を実施している。この事業をきっかけにしたい。

・山下 正彦

広瀬川まちづくり倶楽部は広瀬川の改修工事を通じてまちづくり活性化のための活動を行

なっている。まちなか博物館構想は既成の博物館を造るのではなく、まちの職人さんが働いている場所、職人の技術が観られる場所を造る。黒沢尻の街は大きく変化し、そのような場所がほとんど残っていない。例えば、せんべいを焼く場所、ノコギリを研ぐ場所などが残っている。そのような職人の技が観られる場所、道具が観られる場所を商店の一角、街の一角で観られる場所を費用が係らない方法として考えている。

・八重樫 敏

「北上市って何や」ということで、北上を自慢する言葉に困る。そこで「国見山廃寺」というすばらしい文化があった。今、世界遺産登録を目指している平泉文化より200年も前に平泉文化のの基になったのではないかとされている山岳仏教があるということが解った。北上もなかなかすごいな。しかし、市民のほとんどがこの事実を知らない。山を登る認識はあるが文化については知らない。それを建築士会は啓蒙している。我々は周知する活動を進める。今年国見山の宝探し事業に市民も参加してもらい我々青年会議所のメンバーも加え国見山の周りを回りながら市民のみなさんに周知する方法をみなさんで考える。国見山ウォークラリー事業を進めている。9/19に小学生とその親が参加し、国見山の遺跡があったであろう場所を一巡し、実際に観て体験してその文化に触れてもらおうと実施した。最終的にはウォークラリーのパッケージを北上市内の小学校の遠足等の利用にPRしたい。実際に歩いてみて階段等が劣化し、歩き難い場所がある。11/1にボランティアを募り皆で汗をかいて路を整備する事業を企画している。このようにすばらしい国見山廃寺跡を北上市の宝として取り上げることが提案したい。

・高橋敏彦

これで文化の街並回廊の4団体の考えを伺った。これらの団体の熱い思いがそれぞれ伝わったと思う。並べて見た時に4団体のパワーに加えて、土地が持っているパワーが文化の街並街道を実現できそうな雰囲気が出てきた。これに加えて展勝地では水の回廊ということで水運の流れの交差がある。今、展勝地は公園整備を実施している。そして、立花、稲瀬が景観まちづくりに取り組んでいる。その文化の街並をつくる大きな力で中心市街地も一緒にパワーアップしていきたい。

芸文協の詩歌の森公園文化祭りの土地のパワーを活かした活動を加えて大きな提案ができるのではないかと。

市が基本計画に盛り込んで予算をつける前に企画を繋いで国の地域づくり助成金に応募できるのではないかと。

・菊地広人

都市計画課の景観づくりで北上市の顔づくりをしようという流れがある。協議会の提案と黒西、黒東、立花、稲瀬の地域とともに景観づくりを発信していくことが想定される。

・高橋敏彦

内閣府の事業(予算3,000万円)に応募したがみごとに落選した。このような連携した地域起こしの事業企画案を応募することで社会的なことが可能になる。もしハードづくりのような事業企画案があれば国の予算が充てられる可能性も考えられる。

・阿部英志

さまざまな総合力で行っていくものである。単なる風景だけではなく、文化等を含めた総合力が関係してくる。いろいろな形に融け込めることで更に効果があるのではないかと。

・高橋敏彦

そこをひとつの政策提案の分科会とする提案は如何か。次回までにそれぞれの分科会が政策

提案について話し合う機会が必要であるが、音頭取りをする方はいないか。

・菊池眞市

北上駅からさくらホールまでの直通のバス路線コース整備が必要であると提案する。そしてアーケード街も同様である。国見山廃寺の文化について、藤原氏直系の和賀氏を付け加えて練り上げることを望む。国見山の山頂にあった堂の再建を願う。カモシカ等の生息も確認されている。北上川の周辺に堤防を造る計画がある。例えば国土交通省の計画どおりに二子地区に高さ10mの堤防を造ることで景観への課題が想定される。

・高橋敏彦

堤防の話題であるが、展勝地連絡協議会に国土交通省河川国道事務所の担当者が参加している。地域の方々から様々な提案を受けたいとの声がある。展勝地連絡協議会に参加し、みんなで意見を出し合って洪水を防ぎ、景観がよくなる企画・政策づくりを進めていきたい。

・平野 周

お堂とはどのようなものか。

・菊池眞一

木造の観音堂である。国見山山頂近くの崖の部分にあり山岳信仰の修行の役割を担っていた。ケネディ大統領が暗殺された年に焼失した。

・高橋敏彦

記念の柱が立っている。大非閣(だいひかく)である。

・高橋敏彦

分科会の音頭取りをどなたかをお願いしたい。

・八重樫 敏

音頭取りを受ける

・高橋敏彦

いわてNPO-NETサポートが総会開催時にも提案したが、資料を見ても解るように国語、数学に関して岩手県の小学生は全国10位であるが、中学校は43位である。秋田県は小学校1位、中学校は2位でこの傾向は過去数年間続いている。富山、石川、福井の北陸3県はどちらの県も1位~5位にある。資料は用意しなかったが日本国内で住みたい県は、富山、福井、石川と続く。満足度ナンバー3は北陸3県が上げられている。基礎学力の高さと住みたい県との関係は何か。一方、あまり住みたくない県の評価がある岩手県。そして、秋田県はそれほど住みたい県にあげられていないが学力は高い位置にある。

岩手県がこのような状況であるのなら、北上から教育力に着目し、政策提案を計画した。

(提案内容を読み上げながら説明)

学力調査世界一はフィンランド、国際競争力ランキングは4年連続1位を継続している。このように地域の豊かさと教育力は大きく関係があるとみて取れる。教育力をあげることをみんなで検討したい。

まずは組織をつくり、調査検討の報告実施、実施計画の作成、社会実験を行うなどを計画する。

策定委員会に参加したい団体は申し出てください。

- ・ 昆野将俊
 現在、ショッピングセンターパルにおいて「遊びの学校」を実施している。子どもたちが描いたり、作ったりする造詣力が衰えている。自分たちで工夫する力が減少している危機感を先生たちが感じ始めている。その事業を運営して切実に感じている。教育全体という意味で取り組むのであれば是非参加したい。
- ・ 籠谷睦美
 教育の枠の中で、子どもたちへCADを使った造詣教育を広めたい。
- ・ 高橋敏彦
 今回提供した資料は、疑問に思ったことを参考に示したものである。今後は教育委員会に任せるだけでなく地域のみなさんや家庭が取り組める教育を探るものである。それが教育力、地域力にどのように繋がるかを研究する趣旨である。
- ・ 八重樫 敏
 青少年育成につながる活動として、小学生の環境教育を進めた。今年は高校生を巻き込んで国見山文化について小学生と高校生と大人が地域コミュニティをつくり勉強会を行っている。このような事業でお手伝いしたい。
- ・ 菊池広人
 岩手コミュニティスクール推進事業は地域と小中学校の連携のための予算が2億1千万円を予定している。奥州市は180万円事業ということであるから北上市も同程度の予算が考えられる。
- ・ 菊池真一
 北欧地域に子どもたちを派遣するなどの計画はあるのか。子どもたちが将来を担うための経験獲得のために海外研修を予定してはどうか。
- ・ 高橋敏彦
 北上とは違う他の地域を学ぶ機会が必要である。
- ・ 高橋 求
 葛巻町はドイツなどの北欧地域に海外研修として毎年5～10人の高校生を1週間程度派遣している。北上市も是非お願いしたい。
- ・ 高橋敏彦
 基本構想の答申会議において学力の低下が話題にあがった。今後は教育力をアップし、学力の向上を図るための働きかけを行いたい。
 今日、文化の街並回廊と教育の2点について貴重な意見をいただいた。

4 意見交換と連絡事項その他



地域づくり課 佐々木範久さん



意見交換の様子

企業の地域貢献活動の募集

地域づくり課 佐々木範久

昨年は164社から167の活動情報が企業や市民から提供された。これは市の広報で紹介した。寄せられた情報をもとに、市民会議で優れた活動を選びその企業には2年間マークの利用をすすめる。フォーラムにて表彰する。企業の地域貢献活動の情報提供をお願いする。10/2(金)企業への説明会を行う。

イルミネーション事業の説明

芸術工房 昆野将俊

今回はイルミネーションギャラリーを実施する。

イルミネーション事業に自分たちが関わって自分たちの街がきれいになる事業をすすめる。クリスマスデコレーションのような装飾ではなく、アートを目指し華美にならないように配慮している。

きたかみデザインネットワークフォーラム2009

きたかみデザインネットワーク 高橋敏彦

10周年記念として11/7(土)13:30~17:00まで、さくらホール・小ホールにてフォーラムを開催する。講演は弘前大学北原先生、東北大学五十嵐太郎先生、景観先進地事例は秦野市、柏市より報告がある。入場無料。

デザインネットワーク13人のメンバーによる「13人会」を11/7~15まで、ルームラウンジにて作品を展示する。

「まちの宝をみんなで守ろう!!」

北上青年会議所 八重樫 敏

11/1に国見山の遊歩道整備事業を予定している。高校生と小学生がイモノコ汁を提供する。

「まちなか資産の活用から考える」中心市街地の活性化

いわてNPO-NETサポート 菊池 広人

11/14(水)18:00~生涯学習センターにて「MORIOKA3ringus」の勉強会を予定している。

お母さんの詩コンクール

いわてNPO-NETサポート 高橋 敏彦

10/28(土)さくらホール中ホールにて開催。入場無料、入場整理券を用意している。

6 次回の予定

日時；11/30（月）18:30～

7 ふりかえり

・街づくり市民の会 メンバー

市民団体連絡協議会結成の主目的でもある「北上市への政策提案」が具体的に進められ始めたことに成果を感じています。異なる目的の団体が交流することで「新たな展開がある」ことがもう一つの成果でもありますね。

・よつばネット メンバー

国力再生（地域力再生）の為もちろんですが、子供達が楽しく地域に関わるような事業としてならば喜んで参画したい!!

・いわてNPO-NET サポート メンバー

市民からの政策・事業提案について

「特に印象に残ったのは、国見山廃寺に関する提案であった。ただ、廃寺復活が先に出てきたことについては大いに不安を覚えた。なぜならば廃寺復活となれば膨大な予算とエネルギーを要すると考えたからである。よって、青年会議所が国見山を知ってもらうことから始めたらよくないかとの提案が市民に理解されやすいのではないかと考える。その際に、まず手がけるべきは、基盤となっている里山づくりであろうと思う。平泉や熊野山の例のように、まず太古の森づくりが大切だと考えているが如何。」

8 出席者 15名

| | 法人 | 所属 | 出席者 | |
|----------------|-------|----------------|--------|-------|
| | | | 役職 | 氏名 |
| 来賓 | | | | |
| 1 | 行政 | 北上市企画部政策企画課 | 政策推進係長 | 阿部 英志 |
| 2 | 行政 | 北上市企画部政策企画課 | 主任 | 高橋 剛 |
| 3 | 行政 | 北上市企画部地域づくり課 | 主任 | 佐々木範久 |
| 4 | NPO法人 | いわてNPOセンター | | 佐藤 文彦 |
| 参加団体 | | | | |
| 5 | NPO法人 | いわてNPO-NETサポート | 理事 | 高橋 敏彦 |
| 6 | NPO法人 | 芸術工房 | 常務理事 | 昆野 将俊 |
| 7 | 社団法人 | 岩手県建築士会北上支部 | 支部長 | 平野 周 |
| 8 | 社団法人 | 北上青年会議所 | 理事長 | 八重樫 敏 |
| 9 | 任意団体 | 街づくり市民の会 | 事務局長 | 山下 正彦 |
| 市民活動団体他 | | | | |
| 10 | NPO法人 | よつばネット | 理事 | 沼崎 俊彦 |
| 11 | 任意団体 | CAD夢(キャドリーム) | 代表 | 籠谷 睦美 |
| 12 | 任意団体 | 二子地区 | | 菊池 眞市 |
| 13 | NPO法人 | いわてNPO-NETサポート | 理事 | 高橋 求 |
| 14 | NPO法人 | いわてNPO-NETサポート | 理事 | 菊池 広人 |
| 15 | NPO法人 | いわてNPO-NETサポート | 事務局 | 高橋 淳子 |
| | | | 出席者 15 | |